

【JPrOS 通信 No.376】 2021.06.04 第 47 回 BMS コンファレンス(BMS2020/2021)参加受付
について

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 376 号 ★★★

送信エラーのため一部の方には2回メールが送られているかも知れませんが、大変申し訳ありません。

2021.06.04

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局
(info@jhupo.org)にお願いいたします。

■■■ 第 47 回 BMS コンファレンス(BMS2020/2021)参加受付について ■■■

日本プロテオーム学会員の皆様

平素は日本プロテオーム学会にご参加・ご協力いただきありがとうございます。

日本質量分析学会・BMS(Biological Mass Spectrometry)研究会では 7 月 12 日(月)~14 日
(水)、オンラインにて 47thBMS コンファレンスを開催いたします。

今回も Biological Mass Spectrometry に関する多様なプログラムを企画いたしました。また、
「ディナータイム・ディスカッション」など、オンラインならではの交流の場を準備し、基礎から最先端技術・研究に及ぶ討議や交流の活性化を目指しています。

新入社員など初学者の方への研修にもお役立てください。また、学生さんへの参加費優遇キャンペーン「師弟つながってマス企画」も用意しております。

詳しくは HP をご覧いただくか、実行委員会までお問い合わせください。

締め切りは6月 14 日(郵便振替)となっております。お早めの登録をお願いします。

<http://www.mssj.jp/society/branch/bms/bms47.html>

以下、プログラムの紹介です。

オミクス研究の未来と題し、プロテオミクス・メタボロミクスの最前線を紹介します。

・オミクス研究の未来<プロテオミクス分野>

石濱 泰(京都大学)薬学プロテオミクスの最前線

田岡 万悟(都立大学)リボヌクレオプロテオミクス・RNA-タンパク質複合体の解析方法の開発

鈴木 基司(NIH)ホットピックス<感染症>感染症分野のプロテオミクスおよびタンパク質の研究

・基調講演 John R. Yates(スクリプス研究所) Shotgun Proteomics – Its Birth and Future –
・オミクス研究の未来<メタボロミクス分野>

池田 和貴(かずさDNA研究所)腸内環境での脂質代謝を捉える高深度なリポドミクス解析

及川 彰(山形大学)我々は何を食べているのか? -クッキングメタボロミクスによる新しい食品分析-

斎藤 公亮(AMED GAPFREE)8年間血液 Lipidomics を旅した話

創薬分野では、

・新しい創薬における質量分析の役割

中山 洋(理研)タンデム質量分析とインフォマティクスによる人工核酸のキャラクタリゼーション

小林 和弘(協和キリン)LC-MSを用いた抗体医薬のバイオトランスフォーメーション評価

守谷 岳郎(アクセリード)サンプル保存条件、食事がヒト血漿メタボロームに与える影響の解析

ホットピックスでは、開催不透明ではありますがオリンピックとも関連してドーピングの話題です。

戸崎 晃明(競走馬理化学研究所)スポーツと競馬産業における遺伝子ドーピング問題

また、今回は未来を見据えて、皮膚と食、健康も特集します。

・基調講演

戸倉 新樹(浜松医科大学)皮膚科医の視点からのアレルギーと免疫

・皮膚を知る、皮膚で知る

本田 哲也(浜松医科大学)炎症性皮膚疾患と脂質

勝山 雅子(資生堂 GIC)精神的な緊張時に皮膚から発生するニオイ成分の発見と特定

・食と健康

平 修(福島大学)見えない物を見る食品分析

澤田 一恵(築野食品工業株式会社)こめ油に特長的な γ -オリザノールの構造と機能

成澤 朋之(埼玉県産業技術総合センター) 麺の加工工程における揮発性成分の変化

若手未来セッションは

筒井 拓也(ライオン)日用品の開発における質量分析の役割 -臭気成分分析を事例として-

七種 和美(産総研)タンパク質複合体のネイティブ質量分析

特別講演として

小田 吉哉(東京大学)仮説構築のための統合オミクス:複合オミクスと体系的オミクス

初日には教育講座を行います。

質量分析基礎講座 絹見 朋也(産総研)基礎から確認 -イオン化とマススペクトルの見方-

質量分析応用講座 杉村 夏彦(早稲田大学)イオン化の実践 -約 600 の化合物で評価した
MS イオン源-

多くの皆さまのご参加を、実行委員一同お待ちしております。

BMS2020/2021 実行委員会

bms2021@mssj.jp